

盛岡市遺跡の学び館

令和元年度 館報



第17回企画展「安倍氏最後の拠点 厨川」

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

盛岡市は、南部氏盛岡藩の城下町として、また、近代以降は岩手県の県都として発展してきました。岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめとするいくつもの清流が悠々と流れる、自然豊かな「杜と水の都」です。当館は、市中央公園の一角に位置し、埋蔵文化財発掘調査機関としての機能と、登録博物館として埋蔵文化財の教育普及活動を行う役割を併せ持った、盛岡市教育委員会所管の施設です。

令和元年度の発掘調査事業におきましては、国指定史跡盛岡城跡の整備に伴う発掘調査を継続して行い、漆職人の作業場と思われる建物跡の検出や、本丸天守台の状況確認等を行ったほか、公共工事や民間開発事業等に伴う発掘調査を行いました。調査成果は、報告書として随時刊行していく予定ですが、本書では、速報としてその概要をまとめました。

学芸事業におきましては、企画展「安倍氏最後の拠点 厨川」を開催し、近年の発掘調査成果から、新たな視点で安倍氏の厨川柵・姫戸柵を紹介しました。市民の方々の関心も高く、関連事業として行った特別講演会「安倍氏と前九年合戦」も好評をいただきました。

また、テーマ展「透きとおった記録ーガラスにみる明治・大正・昭和ー」では、発掘調査において出土した近現代のガラス瓶から当時の世相を紹介し、このほか、学芸講座や史跡めぐり、体験学習などを実施しました。

今後におきましても、市民の皆様のニーズをふまえながら、より一層の内容の充実を図ってまいりますので、御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

盛岡市遺跡の学び館
館長 福田 淳

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の令和元年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 III-3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、令和元年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたものである。その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。
- 4 III-4の向中野幅遺跡 第5次調査の遺跡平面位置は、平面直角座標X系（日本測地系座標）を座標変換した調査座標で表示した。

向中野幅遺跡 調査座標原点 $R X \pm 0 \leftarrow X - 36,500,000 \text{ m}$

$R Y \pm 0 \leftarrow Y + 27,000,000 \text{ m}$

- 5 本書に使用した地図は、国土地理院発行2万5千分の1地形図「矢幅」「盛岡」「小岩井農場」「鷹高」「外山」「洪民」及び盛岡市都市計画整備図を使用した。
- 6 発掘調査に伴う記録類や出土遺物等は、当館で保管している。

目 次

はじめに

例言・目次	1
I 施設概要	
1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業	2
2 事業経過	2
3 建設事業費等	2
4 施設概要	2
II 職員体制	3
III 事業概要	
1 管理運営	4
2 学芸事業	5
3 埋蔵文化財発掘調査	13
4 向中野幅遺跡(第5次調査)	23
報告書抄録	

I 施設概要

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土工工事
平成15年度	建築工事・土工工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
令和2年3月末	開館以来の施設総利用者数 188,130人

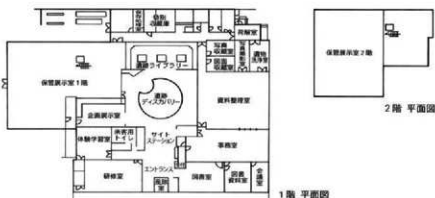
3 建設事業費等

・建設事業費 677,755千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衛設計舎
建築設計委託	24,675	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土工工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	9,219	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		
施設の概要	設置	平成16年3月31日		
	開館	平成16年6月1日		
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造平層(一部重層)		
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室		
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等		
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡)		
	調査整理部門	写真収蔵室(27.2㎡)、図画収蔵室(27.2㎡)		
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)		
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)		



館内平面図及び外観・展示室写真

【收藏資料】(令和元年度未現在)

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	R1 年度発掘調査分	・史跡盛岡城跡・西鹿渡遺跡・細谷地遺跡・下永林遺跡 ほか	小コンテナ 68 箱
	完形品等 (展示資料含む)	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約 5,400 点
	破片等コンテナ取 納資料	・プラスチックコンテナ取納(土器・石器破片, 自然遺物含む) ※コンテナ 503 × 700 × 397mm, 小コンテナ 387 × 586 × 142mm	大 300 箱 小 16,000 箱
寄贈 寄託	個人コレクション	・古澤典夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	8,521 点 2 点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査 記録 資料	図面	・図面(原図・第2原図・遺物実測図等)	約 4,400 枚
	写真	・写真(モノクロ・カラーネガ : 35mm, 6 × 7, 4 × 5) ・カラースライド(35mm, 6 × 7) ・デジタル画像(700MB・CD・DVD)	約 130,000 コマ 約 44,000 コマ 約 440 枚

Ⅱ 職員体制

館 長(兼) 福田 淳
館長補佐(兼) 三浦 志麻

<p>〔管理・学芸班〕 (主任 1 非常勤 2)</p> <p>主任(兼) 菊池 好文 文化財調査員(非常勤) 金 俊教 学芸調査員(非常勤) 千葉 貴子</p>	<p>〔調査班〕</p> <p>(文化財副主幹 2 主査 4 主事 1 非常勤 2)</p> <p>文化財副主幹(兼) 室野 秀文 文化財副主幹(兼) 菊地 幸裕 文化財主査(兼) 津嶋 知弘 文化財主査(兼) 今野 公顕 文化財主査(兼) 花井 正香 文化財主査(兼) 佐々木 亮二 文化財主事(兼) 鈴木 俊輝 文化財調査員(非常勤) 今松 佑太 文化財調査員(非常勤) 佐々木 あゆみ</p>
---	---

Ⅲ 事業概要

1 管理運営

【盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会】

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

○【日 時】令和元年5月23日(木) 13:30～15:00

【会 場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正 委員長、落合昭彦・佐藤由紀男・瀬川君雄 委員

【議 事】報告・平成30年度遺跡の学び館事業報告について
審議・令和元年度遺跡の学び館事業計画(案)について



遺跡ネットワーク整備委員会

【年間事業費】(令和元年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	14,404,251円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,617,623円 (うち国補助1,291,000円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、取蔵資料データシステム等
盛岡遺跡群発掘調査事業	3,563,942円 (うち国補助1,722,000円、 県補助378,000円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	866,223円	・公共事業に伴う事前調査
埋蔵文化財確認調査事業	773,413円	・個人住宅建築及び宅地造成等、民間開発に係る試掘確認調査
計	23,225,452円	

【入館者統計】開館以降の入館者等利用状況(平成16年6月～令和2年3月)

(単位:人)

年度	有料入館者						減免利用者				展示室 利用者数	展示室以 外の利用 者数	総計
	個人			団体			計	一般	小・中	計			
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
H26	2,109	1,513	3,622	328	273	601	4,223	1,691	972	2,663	6,886	4,537	11,423
H27	2,305	1,294	3,599	409	224	633	4,232	1,645	545	2,190	6,422	3,641	10,063
H28	2,204	1,129	3,333	527	198	725	4,058	1,755	394	2,149	6,207	4,184	10,391
H29	2,187	863	3,050	633	322	955	4,005	1,842	682	2,524	6,529	5,103	11,632
H30	2,151	831	2,982	786	214	1,000	3,982	1,463	670	2,133	6,115	4,869	10,984
R1	2,822	1,069	3,891	740	351	1,091	4,982	1,949	953	2,902	7,884	4,258	12,142
計	35,224	23,089	58,313	8,311	9,054	17,365	75,678	29,896	11,405	41,301	116,979	71,151	188,130

2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室においてテーマ展、企画展、令和元年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全6回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受け入れを行った。

(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展「透きとおった記録 ーガラスにみる明治・大正・昭和ー」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和元年6月1日(土)～令和元年9月23日(月)	来場者数	2,543名
展示構成	[ガラス瓶へのいざない] 気泡の多い瓶、色鮮やかな瓶など [生活場面展示] 飲食、医療、化粧に使われたガラス瓶など [トピック展示] 乳飲料瓶、目薬瓶、進駐軍とガラス瓶など [解説展示] ガラス瓶のできるまで、観察のポイント	展示資料数	240点
概要	発掘調査で出土した近現代のガラス瓶は、その生産年代や商品の記録が残されているものが多く、民衆の暮らしが垣間見える貴重な歴史資料である。本展では、遺跡から出土したガラス瓶を生活場面とトピックで展示し、当時の広告やポスター資料も交えて、明治・大正・昭和の世相を紹介した。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第17回企画展「安倍氏最後の拠点 厨川」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和元年10月5日(土)～令和2年1月19日(日)	来場者数	2,395名
展示構成	[奥六郎と安倍氏] 大溝等の区画施設のある館や大型獨立柱建物がある集落と出土遺物(安倍氏の櫓(館)と居宅)安倍氏本拠地の鳥海柵跡と河崎柵疑定地、豪族居館跡の大釜館遺跡、八幡館山遺跡 [周辺遺跡からみた厨川柵・堀戸柵] 赤良遺跡、大館町遺跡、大新町遺跡、小屋塚遺跡などの安倍氏関連遺跡の調査成果 [その後の厨川と安倍氏の末裔] 安倍氏滅亡後の様相と代表的な遺跡	展示資料数	272点
概要	平安時代後期の11世紀、岩手郡厨川には安倍氏の厨川柵・堀戸柵が置かれていた。前九年合戦終盤、厨川で最後の合戦が行われ、安倍氏は滅亡した。近年の発掘調査成果から、現在の大館町・大新町から安倍館町付近にかけて厨川柵・堀戸柵が存在すると考えられるようになった。本展では、鳥海柵跡(金ヶ崎町)や関連遺跡の調査成果を交えながら厨川地域の調査成果を再検証し、新たな視点から厨川柵・堀戸柵を紹介した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第37回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘するー令和元年度調査速報ー」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和2年2月1日(土)～令和2年9月22日(火)	来場者数	2,622名
展示遺跡	史跡盛岡城跡、下永林遺跡、細谷地遺跡、西龍渡遺跡、大新町遺跡、向中野橋遺跡、二又遺跡ほか	展示資料数	278点
概要	令和元年度に市内で発掘された遺跡の概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展 透きとおった記録



企画展 安倍氏最後の拠点 厨川



第37回埋蔵文化財調査資料展

【講演会】（企画展関連事業）

開催日	タイトル・講師	聴講者
令和元年11月10日(日) 13:15～16:00	特別講演会「安倍氏と前九年合戦」 岩手大学人文社会科学部 教授 樋口 知志 氏 鼎談「安倍氏と柵を語る」 岩手大学人文社会科学部 樋口 知志 氏 金ヶ崎町教育委員会 浅利 英克 氏 当館 室野 秀文 文化財副主幹	170名

【学芸講座】

開催日	タイトル・講師	聴講者
令和元年6月16日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅰ「近現代からのメッセージ」 当館 花井 正香 文化財主査	23名
令和元年8月25日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅱ「遺跡のガラス瓶」 当館 津嶋 知弘 文化財主査	13名
令和元年11月3日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅲ「厨川柵と姫戸柵」 当館 室野 秀文 文化財副主幹	150名

【ミニ展示】

サイトステーション内にミニ展示コーナー「みっけギャラリー」を設け、3～4ヶ月ごとにテーマを決めて展示した。

令和元年度は、中近世の経石や石器をテーマとした展示を行った。

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
令和元年6月2日(日) 9:30～12:00	「縄文土器をつくろう！」(親子) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	16名
令和元年6月30日(日) 7月21日(日) 9:00～12:00	「やきもの教室」(制作と軸葉掛け 2回) 講師:平 知道 氏 補助:当館職員・サポーターズクラブ	6名
令和元年9月1日(日) 10:00～12:00	「考古学者になってみよう! 発掘体験」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	5名
令和元年10月20日(日) 9:30～12:00	「もりおか史跡・遺跡めぐり」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	10名



縄文土器をつくろう!



考古学者になってみよう! 発掘体験



カゴ作り教室

開催日	タイトル・講師	参加者
令和元年12月1日(日) 9:30～12:00	「草木染教室」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	11名
令和2年2月16日(日) 9:30～12:00	「カゴ作り教室」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	10名

【古代体験ひろば】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク! 古代体験ひろば	平成31年4月27日(土) ～令和元年5月6日(月) 10日間	午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30 メニュー:勾玉作り・土玉彩色・古代風ストラップ・土偶ストラップ(有料)	勾玉作り136名、土玉彩色123名、古代風ストラップ180名、火おこし718名 (のべ1,157名)
夏休み! 古代体験ひろば	令和元年8月3日(土) ～8月12日(日) 9日間	土偶ストラップ(有料)	勾玉作り65名、土玉彩色69名、古代風ストラップ80名、土偶ストラップ24名、火おこし342名、まなびのひろば14名 (のべ594名)
冬休み! 古代体験ひろば	令和2年1月7日(火) ～1月13日(月) 7日間	土偶ストラップ(有料)	勾玉作り60名、土玉彩色45名、古代風ストラップ51名、土偶ストラップ21名、火おこし247名、まなびのひろば2名 (のべ426名)



ゴールデンウィーク! 古代体験ひろば



夏休み! 古代体験ひろば



冬休み! 古代体験ひろば

【縄文ふれあい DAY】

盛岡市内の小・中学校に通学している児童・生徒5名以上の場合に入館料が減額になる毎月第2土曜日を「縄文ふれあい DAY」とし、土玉彩色・古代風ストラップ・拓本とり・古代のお守りネックレス作りなどの体験学習を実施した。

(3) ボランティア活動や地域連携活動

【盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク」(略称もりとびあねつ)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。

催事のタイトル	開催期間	内 容	参加・聴講者数
本宮ゆいっこまつり	令和元年6月1日(土)	本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」主催。中央公園イベント広場を会場とし、当館は火おこし体験で参加。	参加 80名
夏休み☆もりとびあスタンプラリー	令和元年7月13日(土) ～8月25日(日)	施設PRとして、「もりとびあねっこだより」を台紙に活用し、6施設全ての押印で記念品贈呈。	記念品交換者数 68名
志波城まつり	令和元年9月1日(日)	志波城まつり実行委員会主催。志波城古代公園を会場とし、当館は火おこし・土玉アクセサリー作り、ミニ展示で参加。	参加 120名

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して14年目を迎えた。本年度は新たに8名が入会し、会員数18名での活動となった。当館行事の春・夏・冬の「古代体験ひろば」(個人の体験学習)をはじめ、やきもの教室・史跡めぐり・カゴ作り教室をはじめ各種の体験教室などに積極的に活動に参加され、支援していただいた。

また自主活動として、他館の展示方法・工夫などの修得及び会員の親睦を図るために研修旅行(期日:令和元年10月30日(水)、研修先:秋田県弘田柵・秋田県埋蔵文化財センター)を企画し、15名が参加された。



志波城まつり



サポーターズクラブ研修旅行

(4) 研修・実習活動

【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体	参加者
令和元年9月3日(火) ～9月6日(金)	インターンシップ研修	中央大学3年生	1名
令和元年9月10日(火) ～9月13日(金)		岩手大学3年生	1名
令和元年8月21日(水) ～8月28日(水)	博物館実習	盛岡大学3名、岩手大学1名、 秋田公立美術大学1名	4名



インターンシップ研修



博物館実習



博物館実習

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
令和元年5月29日(水)	大館町遺跡見学学習	佐々木 亮二 文化財主査 今松 佑太 文化財調査員 千葉 貴子 学芸調査員	大新小学校	83名
令和元年6月21日(金)	学びの循環推進事業 「近現代からのメッセージ」	花井 正香 文化財主査	もりおか老人大学 みたけ校(みたけ老人 福祉センター)	13名
令和元年6月21日(金)	学びの循環推進事業 「盛岡城跡の遺跡」	佐々木 亮二 文化財主査	もりおか老人大学 社 陵校(盛岡城跡公園)	34名
令和元年7月23日(火)	学びの循環推進事業 「もりおかの遺跡」	菊地 幸裕 文化財副主幹	岩手県立盛岡北高等 学校	43名
令和元年8月11日(日)	つなぎ温泉早朝ウォーキング	佐々木 亮二 文化財主査	つなぎ温泉	20名
令和元年8月31日(土)	わくわくチャレンジふれあ いの日(講話・発掘体験)	佐々木 亮二 文化財主査	手代森小学校	70名
令和元年9月11日(水)	成人教育「縄文講座」 「縄文土器づくり」	千葉 貴子 学芸調査員	松園地区公民館	20名
令和元年9月18日(水)	「盛岡の縄文遺跡」	菊地 幸裕 文化財副主幹		
令和元年9月25日(水)	「縄文人の生活」	津嶋 知弘 文化財主査		
令和元年11月2日(土)	近世・近代史講座 「不來方から盛岡へ～石垣が 語るお城の遷り変わり～」	佐々木 亮二 文化財主査	西部公民館	50名
令和2年1月19日(日)	学びの循環推進事業 「玉山地区の遺跡」	菊地 幸裕 文化財副主幹	渡民公民館	20名
令和2年2月27日(木)		鈴木 俊輝 文化財主事		6名

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催(会場)
令和元年10月17日(木) ～10月18日(金)	令和元年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 第32回研修会	千葉 貴子 学芸調査員	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(福岡県福岡市)
令和元年12月6日(金)	令和元年度埋蔵文化財発掘調査技術講習会	鈴木 俊輝 文化財主事 今松 佑太 文化財調査員	岩手県立埋蔵文化財センター(岩手県立博物館)
令和2年2月18日(火) ～2月21日(金)	埋蔵文化財専門職員等を対象とした文化財マネジメント職員養成研修	菊地 幸裕 文化財副主幹	文化庁(京都府京都市)

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場・視察先
令和元年6月6日(木) ～6月7日(金)	令和元年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	福田 淳 館長	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(福井県福井市)
令和元年8月23日(金)	令和元年度岩手県博物館等連絡協議会総会・研修会	三浦 志麻 館長補佐	岩手県博物館等連絡協議会(山田町中央公民館ほか)
令和元年10月3日(木) ～10月4日(金)	令和元年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議	菊地 幸裕 文化財副主幹	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック(北海道立埋蔵文化財センターほか)

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
令和元年8月10日(土) 10:30～12:00	史跡盛岡城跡第39次発掘調査現地説明会	90名
令和元年11月9日(土) 13:30～15:00	史跡盛岡城跡第40次発掘調査現地説明会	200名



史跡盛岡城跡 発掘調査現地説明会

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
『西鹿渡遺跡―宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―』	令和元年7月31日	150部	公的機関に 配布
『里館遺跡―保育園建築に伴う緊急発掘調査報告書―』	令和元年8月31日	150部	
『向中野幅遺跡―第3・4次調査 盛岡市新産業等用地整備事業に伴う発掘調査報告書―』	令和元年9月30日	300部	
『盛岡市内遺跡群―平成28年度発掘調査報告書―』	令和元年9月30日	300部	
『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅺ―道明地区土地区画整理事業関連遺跡 平成29年度発掘調査― 細谷地遺跡』	令和2年2月28日	300部	

【学芸関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 遺跡の学び館第17回企画展「安倍氏最後の拠点 厨川」	令和元年10月5日	400部	600円
『盛岡市遺跡の学び館 平成30年度館報』	令和2年3月25日	350部	公的機関に 配布
『盛岡市遺跡の学び館 特報』	令和2年3月30日	500部	無料配布



盛南地区遺跡群 発掘調査報告書



第17回企画展 展示図録



遺跡の学び館 特報

(8) 他市町村への埋蔵文化財担当職員の派遣及び現地指導

派遣先・依頼機関	職務内容	人数	派遣期間
奥州市教育委員会	丸森館現地調査指導	1名	令和元年5月9日(木)

(9) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

形態	分野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			平成30年度末	令和元年度増加分	
発掘調査報告書			19,600	556	20,156
一 般 図 書	考 古 学	概説書など	301	6	307
	歴 史 学	日本史・郷土史など	190	1	191
	民 俗 学	民具・民俗芸能など	22	0	22
	美 術 工 芸	絵画・彫刻・建造物など	37	0	37
	自 然 科 学	動植物など	6	0	6
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	53	1	54
	博 物 館 学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	そ の 他	辞典・事典など	52	5	57
資 料 集	図録・解説書・パンフ・レジュメなど	2,380	142	2,522	
全 集	3冊以上	477	1	478	
論 集	論文集など	54	12	66	
通 史	市町村史	276	10	286	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	5,056	197	5,253	
計		28,507	931	29,438	

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター及び博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍及び展示図録・歴史関連書籍や論文、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い、保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に收藏のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 埋蔵文化財発掘調査

令和元年度は、本発掘調査11件、試掘調査18件、合計29件の調査を行った。前年度より、総件数は増加したが、本調査件数は僅かに減少している。原因別の内訳は、史跡保存整備事業に伴う事前調査が3件、大規模区画整理事業に係る本調査2件、上下水道工事に係る本調査1件、学校校舎建設に係る試掘調査1件、民間開発関連では、個人専用住宅建築等に係る本調査4件・試掘調査4件、共同住宅建築等に係る試掘調査3件、宅地造成に係る本調査1件・試掘調査5件、福祉施設等建設に係る試掘調査3件、太陽光発電施設に係る試掘調査2件である。総面積は11,783㎡で、前年度比47.0%となっている。

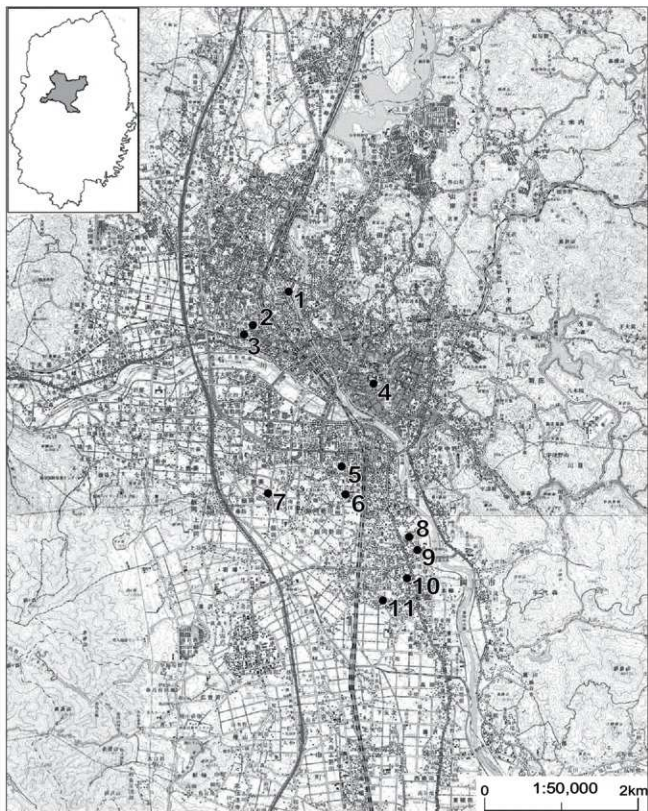
調査地の地域的分布は、旧市街地区が3地点、太田・向中野地区が6地点、飯岡地区が8地点、厨川地区が8地点、上田地区が1地点、中津川地区が1地点、玉山地区が2地点となっている。

本報告では、遺構及び遺物が検出された調査を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。なお、次節の向中野幅遺跡第5次調査は、本報告をもって正式報告とする。

【令和元年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧】

区分	No	遺跡名	回数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	1	盛岡城跡	39	内丸57-1地内 (台所地区北部)	史跡保存整備 の事前調査	6月10日～ 9月12日	649	近世の掘立柱建物跡1棟、竪穴跡、焼土遺構、鍛冶関連遺構 藩政期の瓦、陶磁器 コンテナ 約23箱
	2	盛岡城跡	40	内丸57-1地内 (本丸南東部)	史跡保存整備 の事前調査	9月5日～ 11月29日	180	本丸天守台石垣天端石、根石、 石土居天端石 藩政期の瓦、陶磁器 コンテナ 約20箱
	3	盛岡城跡	37 補	内丸57-1地内 (三ノ丸北西部)	史跡保存整備 の事前調査	10月23日～ 11月27日	170	塙控柱列跡 藩政期の瓦
	4	安倍館遺跡	94	安倍館町124-5	個人住宅建築	4月15日～ 4月26日	65	中世の堀跡1条 縄文時代の土器・石器、近世陶 磁器、古銭 コンテナ約1箱
	5	大新町遺跡	85	大新町16-30	個人住宅建築	4月15日～ 6月5日	87	縄文時代の土坑1基 縄文時代早期の土器・石器、古 代の土器 コンテナ約1箱
	6	西鹿渡遺跡	36	三本柳2地割22- 3.25-1～3	宅地造成	4月17日～ 7月11日	4,552	奈良時代の竪穴建物跡3棟、 古代以降の土坑2基、溝跡1条 奈良時代の土師器 コンテナ 約4箱
	7	西鹿渡遺跡	37	三本柳2地割37- 9	個人住宅建築	5月31日～ 7月2日	66	奈良時代の竪穴建物跡1棟、 土坑6基 奈良時代の土師器、土製紡錘 車、土玉、砥石、鉄製刀子 コ ンテナ約2箱
	8	下永林遺跡	8	津志田14地割1- 1外	土地区画整理 事業	6月3日～ 12月5・25日	2,187	縄文時代以降の土坑4基、奈良・ 平安時代の円形周溝15基、溝 跡1条、古代以降の掘立柱建 物跡1棟、柱列跡2列、 縄文時代の石器・剥片、奈良・ 平安時代の土師器、赤色顔料、 近代以降の陶磁器、土人形、ガ ラス瓶 コンテナ約8箱

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本調査	9	二又遺跡	15	下飯岡1地割51-1	個人住宅建築	9月17日～ 9月30日	36	平安時代の竪穴建物跡1棟 平安時代の須恵器・あかやき土器 コンテナ約2箱
	10	細谷地遺跡	40	向中野字細谷地24-4外	土地区画整理事業	10月1日～ 10月24日	595	近現代の廃棄土坑16基 近現代の陶磁器・ガラス瓶 コンテナ約6箱
	11	向中野幅遺跡	5	向中野字幅地内	上下水道等工事	11月11日～ 11月13日	245	縄文時代の陥し穴状土坑1基、 平安時代以降の溝跡2条、近 世以降の溝跡2条 近現代のガラス瓶 コンテナ 約1/2箱
試掘調査	12	上畑遺跡	13	西見前11地割207.3外	福祉施設建設	5月7日	29	遺構・遺物なし
	13	南仙北遺跡	40	南仙北二丁目70-1.78-2	宅地造成	6月17日～ 6月19日	508	遺構・遺物なし
	14	細谷地遺跡	39	向中野七丁目13-4	宅地造成	7月3日	53	遺構・遺物なし
	15	赤袋遺跡	9	西青山一丁目24-1・9の各一部	賃貸住宅建築	7月9日	47	遺構・遺物なし
	16	赤袋遺跡	10	西青山一丁目24-1・9の各一部	賃貸住宅建築	7月9日	52	遺構なし 平安時代の土師器片
	17	里館遺跡	66	北天昌寺町28-14	福祉施設建設	7月16日	55	遺構・遺物なし
	18	稲荷町遺跡	35	大館町434-2	宅地造成	7月23日	48	中世の堀跡1条 (設計変更による現状保存)
	19	黒石野平遺跡	10	緑ヶ丘三丁目2-22	障がい者支援施設建設	7月25日	95	遺構・遺物なし
	20	大新町遺跡	86	大新町16-30	個人住宅建築	7月29日	18	縄文時代のビット1口 遺物なし
	21	町田遺跡	21	乙部30地割35-4	個人住宅建築	7月31日	22	遺構なし 平安時代の土師器片
	22	西遺跡	4	下飯岡11地割109-1外	小学校校舎建設	9月10日	59	遺構・遺物なし
	23	落合遺跡	17	下米内一丁目140-5	個人住宅建築	10月9日	17	遺構なし 縄文時代晩期の土器片
	24	武道東遺跡	1	浜民字山屋53-1外	太陽光発電施設造成	10月17日～ 11月7日	346	遺構・遺物なし
	25	山屋Ⅱ遺跡	1	浜民字山屋22-1外	太陽光発電施設造成	10月17日～ 11月7日	548	遺構・遺物なし
	26	百目木遺跡	36	三本柳5地割41-2	個人住宅建築	10月23日	99	平安時代の竪穴建物跡1棟 平安時代の土師器
	27	荒屋遺跡	4	永井25地割46-1.47-2	宅地造成	10月30日～ 10月31日	636	奈良・平安時代の竪穴建物跡 15棟、土坑7基、溝跡3条 奈良時代の土師器
28	稲荷町遺跡	36	大館町126-1、 127-1.597	宅地造成	12月3日～ 12月4日	255	縄文時代の陥し穴状土坑1基、 中世の堀跡1条 近世の陶磁器片	
29	台太郎遺跡	92	向中野二丁目5-11	共同住宅建築	3月24日	64	奈良・平安時代の竪穴建物跡5 棟、溝跡1条 奈良・平安時代の土師器・須恵器	
総面積							11,783	



1	安倍館遺跡 (第94次)	2	大新町遺跡 (第85次)	3	稲荷町遺跡 (第35・36次)
4	盛岡城跡 (第39・40次)	5	台太郎遺跡 (第92次)	6	細谷地遺跡 (第40次)
7	二又遺跡 (第15次)	8	西鹿渡遺跡 (第36・37次)	9	百目木遺跡 (第36次)
10	下永林遺跡 (第8次)	11	荒屋遺跡 (第4次)		

令和元年度調査遺跡 位置図

○史跡整備に伴う事前調査

(1) 国指定史跡 盛岡城跡 第39・40次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市内丸57-1地内 | 2 調査原因 | 史跡保存整備事業に伴う事前調査 |
| 3 調査方法 | トレンチによる内容確認調査 | 4 調査期間 | 令和元年6月10日～11月29日 |
| 5 調査面積 | 第39次649㎡、第40次180㎡ | 6 調査員 | 佐々木 亮二・今松 佑太 |
| 7 検出遺構 | 第39次 掘立柱建物跡1棟、竪穴跡、溝跡4条、焼土遺構4箇所、鍛冶関連遺構、石垣根石・根石据方 | | |

第40次 本丸天守石垣天端石・根石、石土居天端石

- 8 出土遺物 藩政期の軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、陶磁器、漆漣殻、漆パレット、赤色顔料、砥石、円盤形土製品、鉄製品、鉄滓 コンテナ約43箱
- 9 調査概要 史跡盛岡城跡は、市街地中心部の内丸に所在する盛岡藩南部氏の居城跡である。本丸、二ノ丸、三ノ丸などで構成される連郭式縄張の内曲輪（御城内）を要とし、その外側に外曲輪、遠曲輪を配置した梯郭式の城郭である。主要曲輪は総石垣造りとなっている。築城から400年以上経過し、石垣は城内各所で孕みや陥没が認められ、一部では崩落の危険性もあげられる。

当市では、平成24年に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、石垣の解体修理をはじめとする保存整備計画を計画し、これに係る事前調査を平成25年度から実施している。第39次調査は三ノ丸南東下の台所地区を、第40次調査は本丸天守台を調査対象とした。

台所地区においては、南北棟と東西棟がL字形に組み合わさった掘立柱建物跡が検出された。絵図に記された「御塗師小屋」と想定されるもので、建物跡内の竪穴跡から漆漣殻、石製の漆パレット等の漆関連遺物が出土している。

本丸天守台においては、明治期以降の四阿の基礎が確認されたのみで、藩政期の天守櫓の礎石等は確認されなかった。



第39・40次調査区 位置図



第39次調査 掘立柱建物跡



第40次調査 本丸天守台

○公共事業関連

(1) 下永林遺跡 第8次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市津志田14地割1-1外 | 2 調査原因 | 都南中央第三地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 令和元年6月3日～12月5日・25日 |
| 5 調査面積 | 2,187㎡ | 6 調査員 | 花井 正香 |
- 7 検出遺構 縄文時代以降の土坑4基、奈良・平安時代の円形周溝15基、溝跡1条、古代以降の掘立柱建物跡1棟、柱列跡2列、溝跡1条、近代以降の堰跡・堰間連施設、時期不詳のビット112口
- 8 出土遺物 縄文時代の石器・剥片、奈良・平安時代の土師器、赤色顔料、炭化材、近代以降の陶磁器、土製品、ガラス瓶 コンテナ約8箱
- 9 調査概要 本遺跡は、大道西古墳とも称され、昭和初期に蔵手刀が出土したことで知られている。従前の調査では奈良・平安時代の円形周溝が20基以上確認されている。今次調査では、15基の円形周溝の遺構が確認された。このうち2基からは主体部が確認され、うち1基の基底部から赤色顔料が確認されている。円形周溝は径10m超の大型墳墓と、中・小型墳墓が密集して配置されており、墓域形成が窺える成果となっている。



第8次調査区 位置図 (1:5,000)



第8次調査 円形周溝

(2) 細谷地遺跡 第40次調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市向中野字細谷地24-4外 | 2 調査原因 | 道明地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 令和元年10月1日～10月24日 |
| 5 調査面積 | 595㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕・鈴木 俊輝 |
- 7 検出遺構 近現代の廃棄土坑16基
- 8 出土遺物 近現代の陶磁器、ガラス瓶 コンテナ約6箱
- 9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸と雫石川南岸に広がる低位沖積段丘の南端縁部に立地し、これまでに奈良・平安時代の竪穴建物跡が230棟以上確認された大規模集落跡である。今次調査では、従前確認された陥し穴状土坑や古代の竪穴建物跡は検出されず、近現代の廃棄土坑が確認された。



第40次調査区 位置図 (1:5,000)



第40次調査 廃棄土坑

○個人住宅建築関連

(1) 安倍館遺跡 第94次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市安倍館町 124-5 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 住宅基礎掘削深度までの本調査 | 4 調査期間 | 平成31年4月15日～4月26日 |
| 5 調査面積 | 65㎡ | 6 調査員 | 津嶋 知弘 |
- 7 検出遺構 中世の堀跡1条
- 8 出土遺物 縄文土器・石器, 近世の磁器・古銭, 近代硬貨, 近世以降の鉄製品片 コンテナ約1箱
- 9 調査概要 本遺跡は、滝沢台地の東辺部、南北に長い舌状台地上に立地する。中世工藤氏の城館「厨川城」とされている。「厨川城」は北上川に面して、匂当館・外館・北館・本丸・中館・南館・帯曲輪からなる構造で、今次調査では、外館と帯曲輪の間に位置する堀跡が検出された。従前の調査から2m以上の深さが想定されるが、住宅基礎工事掘削深度までの調査に限定し、以下は現状保存とした。



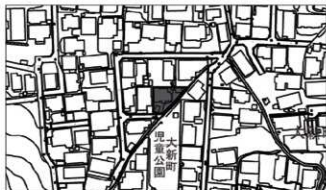
第94次調査区 位置図 (1:2,500)



第94次調査 全景

(2) 大新町遺跡 第85次調査

- | | | | |
|--------|--------------|--------|---------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大新町 16-30 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成31年4月15日～令和元年6月5日 |
| 5 調査面積 | 87㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕・鈴木 俊輝 |
- 7 検出遺構 縄文時代の土坑1基, ビット2口
- 8 出土遺物 縄文土器・石器, 古代以降の土器, 近現代のガラス瓶 コンテナ約1箱
- 9 調査概要 本遺跡は、北上川に沿って舌状に張り出した滝沢台地南縁の緩斜面にしている。今次調査の結果、縄文時代の土坑等の遺構が検出された。また、縄文時代早期の遺物包含層も確認されており、ここから押型土器、沈線土器等の土器・石器が出土している。



第85次調査区 位置図 (1:2,500)



第85次調査 全景

(3) ^{にしきざ}西鹿渡遺跡 第37次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳2地割37-9 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 令和元年5月31日～7月2日 |
| 5 調査面積 | 66㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文 |
| 7 検出遺構 | 奈良時代の竪穴建物跡1棟、土坑6基、奈良時代以降のピット8口 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良時代の土師器、土製紡錘車、土製玉、砥石、鉄製刀子 コンテナ約2箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地する。今次調査では、奈良時代の竪穴建物跡等の遺構が検出された。竪穴建物跡は辺長約7mの規模で、本遺跡では最大規模となる。北壁中央にカマドを有し、ほかに地床炉が2箇所検出された。遺物は、該期の土師器等が出土したが、特徴的な遺物として赤彩高坏が出土している。当該地域の家父長層の居宅を想起させる知見である。 | | |



第37次調査区 位置図 (1:2,500)



第37次調査 竪穴建物跡

(4) ^{ふたまた}二又遺跡 第15次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下飯岡1地割51-1 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 試掘調査の遺構検出範囲の本調査 | 4 調査期間 | 令和元年9月17日～9月30日 |
| 5 調査面積 | 36㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕 |
| 7 検出遺構 | 平安時代の竪穴建物跡1棟 | | |
| 8 出土遺物 | 平安時代の須恵器・あかやき土器 コンテナ約2箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、雫石川によって形成された沖積段丘上に立地している。今次調査では、平安時代の竪穴建物跡が検出された。辺長約3.5mの隅丸方形で、東辺にカマドを有する。遺物は、カマド火床面から須恵器 坏が、床面中央部の地床炉周辺からあかやき土器の灯明皿が出土している。 | | |



第15次調査区 位置図 (1:2,500)



第15次調査 竪穴建物跡

(5) 百目木遺跡 第36次調査

- | | | | |
|--------|---------------|--------|------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳5地割41-2 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和元年10月23日 |
| 5 調査面積 | 99㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕 |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡1棟
8 出土遺物 平安時代の土師器・あかやき土器
9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地している。今次調査では、平安時代に比定される竪穴建物跡1棟と、該期の土師器 甕・高台付坏、あかやき土器 坏などが確認された。(令和2年度本調査実施)



第36次調査区 位置図(1:2,500)

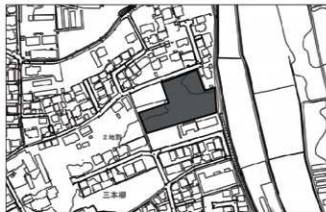


第36次調査 竪穴建物跡検出状況

○民間開発関連

(1) 西鹿渡遺跡 第36次調査

- | | | | |
|--------|----------------------|--------|--------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳2地割22-3,25-1~3 | 2 調査原因 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成31年4月17日～
令和元年7月11日 |
| 5 調査面積 | 4,552㎡ | 6 調査員 | 菊地 幸裕・佐々木 あゆみ |
- 7 検出遺構 奈良時代の竪穴建物跡3棟，古代以降の土坑2基，溝跡1条
8 出土遺物 奈良時代の土師器 コンテナ約4箱
9 調査概要 今次調査は遺跡北東部の地点を対象とし，奈良時代の竪穴建物跡等の遺構と，該期の土師器 坏・甕等に遺物が確認された。なお，本調査については別途報告済(『西鹿渡遺跡-第36次調査宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書-』2020年7月)である。



第36次調査区 位置図(1:5,000)



第36次調査 竪穴建物跡

(2) ^{いかりちよう} 稲荷町遺跡 第35次調査

- | | | | |
|--------|---------------|--------|-------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大館町 434-2 | 2 調査原因 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和元年7月23日 |
| 5 調査面積 | 48㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕・鈴木 俊輝 |
| 7 検出遺構 | 中世の堀跡1条 | | |
| 8 出土遺物 | なし | | |

9 調査概要 本遺跡は、雫石と諸葛川の合流点の北岸の段丘上に立地している。従前の調査では、縄文時代の陥し穴状土坑、中世～近世の掘立柱建物跡等の遺構が確認されており、中世居館を中心とする遺跡と推測されている。今次調査では、堀跡が検出された。幅7m以上、深さ1m以上の規模で、従前の調査成果に鑑み、中世居館の外側を巡る堀跡と想定される。(設計変更による現状保存措置)



第35次調査区 位置図 (1:5,000)



第35次調査 堀跡検出状況

(3) ^{あらかや} 荒屋遺跡 第4次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市永井 25 地割 46-1, 47-2 | 2 調査原因 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和元年10月30日～10月31日 |
| 5 調査面積 | 636㎡ | 6 調査員 | 津嶋 知弘・今野 公顕 |
| 7 検出遺構 | 奈良・平安時代の竪穴建物跡 15 棟, 土坑 7 基, 時期不明の溝跡 3 条 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良時代の土師器 | | |

9 調査概要 本遺跡は、雫石川南岸と北上川西岸に形成された微高地に立地する。今次調査では、奈良・平安時代の竪穴建物跡等の遺構が確認された。一部の竪穴建物跡の埋土には、十和田a 降下火山灰が混入していた。(令和2年度本調査実施)



第4次調査区 位置図 (1:5,000)



第4次調査 竪穴建物跡検出状況

(4) ^{いかりちょう}稲荷町遺跡 第36次調査

- | | | | |
|--------|------------------------|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大館町 126-1,127-1,597 | 2 調査原因 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和元年12月3日～12月4日 |
| 5 調査面積 | 255㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕・鈴木 俊輝 |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑1基、中世の堀跡1条、時期不詳の溝跡3条、ピット6口
8 出土遺物 近世の陶磁器片
9 調査概要 今次調査では、縄文時代に比定される陥し穴状土坑、中世の堀跡等の遺構を検出した。堀跡は、第35次調査で確認された堀跡の延長と考えられ、中世に帰属すると推測される。(令和2年度本調査実施)



第35次調査区 位置図 (1:5,000)



第35次調査 堀跡検出状況

(5) ^{がいたろう}台太郎遺跡 第92次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|-------------|
| 1 調査地 | 盛岡市向中野二丁目 5-11 | 2 調査原因 | 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和2年3月24日 |
| 5 調査面積 | 64㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕・鈴木 俊輝 |
- 7 検出遺構 奈良・平安時代の竪穴建物跡5棟、古代以降の溝跡1条
8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器・須恵器
9 調査概要 本遺跡は、雫石川南岸に広がる沖積段丘上に立地している。これまでの調査で、奈良・平安時代の竪穴建物跡が700棟以上確認されている。盛岡市内で最大規模の古代集落である。今次調査では、奈良・平安時代の竪穴建物跡等の遺構と、当該期の土師器・須恵器等の遺物を確認した。(設計変更による現状保存措置)



第92次調査区 位置図 (1:2,500)



第92次調査 竪穴建物跡検出状況

4 向中野幅遺跡（第5次調査）

1 遺跡の環境

(1) 遺跡の概要（第1図）

本遺跡は、盛岡市向中野字幅・畑返地内に所在する。本遺跡は北上川とその支流である雫石川、中津川、築川の合流点付近から南に約2.6kmの位置にあり、北上川は本遺跡の東約1.5kmを南流する。本遺跡東側にはJ R東北新幹線・東北本線が南北に走り、東北本線仙北町駅から南方約1.8kmに位置する。

本遺跡周辺は、かつては耕地が広がる平野に集落が散在する農村地帯であったが、大規模土地区画整理事業「盛岡南新都市開発整備（盛南開発）」、「道明地区土地区画整理事業」の南東側に位置すると共に、本遺跡でも「盛岡市新産業等用地整備事業」、「（仮称）盛岡学校給食センター建設」、大規模な民間宅地開発工事が進み、ここ10年で地域環境の変容が激しい地域である。

本遺跡は、雫石川と北上川の影響を強く受けた低位沖積段丘上に位置し、基本層序は下層から水成砂礫層、河川堆積水成シルト層、表土となる。遺跡標高は約119.5～120.8mを測り、遺跡総面積は約57,300㎡と想定される。

2 調査内容

(1) これまでの調査（第1表・第2図）

本遺跡は、平成29年度以降令和元年度までに5次の調査を実施している。いずれも盛岡市の（仮称）盛岡学校給食センター建設、新産業等用地整備事業に伴う調査である。これまでの調査の結果、本遺跡は縄文時代の狩猟場や平安時代の溝跡、近世以降の溝跡の遺跡であることがわかった。また、近世の溜池跡が周辺にあったとされる場所である。

(2) 第5次調査（第3図）

第5次調査は、新産業等用地整備事業（上下水道配管工事）に伴う調査として実施した。

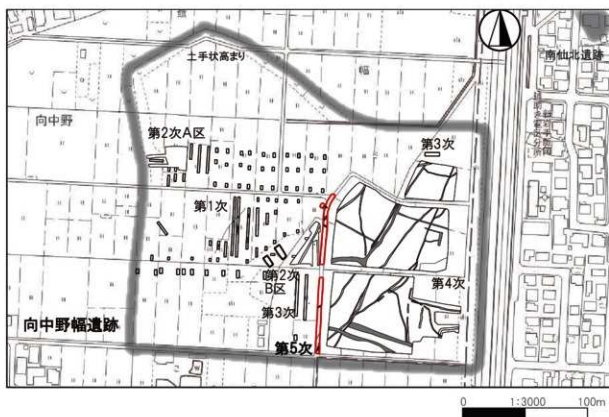
工事面積2,850㎡のうち、これまでの調査成果から遺構の存在が予測された第2・4次調査区に隣接する245㎡を対象に調査を実施し、陥し穴状土坑1基、溝跡4条を検出した。

第1表 向中野幅遺跡 調査実績

次数	年度	調査方法	所在地	面積 (㎡) (調査対象)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査	報告書
1	H29	試掘確認	岩手県盛岡市向中野字幅、畑返	819.0 (11,078)	2017.4.19～ 2017.4.28	縄文時代 遺物包含層 近代以降 溝跡	(仮称)盛岡学校給食センター建設	盛岡市教育委員会	既刊
2	H29	本調査		743.8 (11,078)	2017.11.1～ 2017.11.30	縄文時代 土器、石器 近世以降 陶磁器片			
3	H29	試掘確認		2,568.0 (24,848)	2017.11.21～ 2017.12.6	縄文時代 土坑3 平安時代以降溝跡19、土坑3	盛岡市新産業等用地整備事業		既刊
4	H30	本調査		10,843.5 (14,545)	2018.7.9～ 2018.9.28	平安時代 土器 近世以降 陶磁器片、木製品			
5	R1	本調査		245 (2,850)	2019.11.11～ 2019.11.13	縄文時代 土坑1、平安時代 溝跡2、近世以降 溝跡2			



第1図 向中野幅遺跡 位置図



第2図 向中野幅遺跡全体図

(3) 調査成果

①土坑 (第2表, 第5図)

R D 07 土坑

位置 調査区北部 重複関係 なし 平面形 溝状
規模等 長軸 2.7 m以上 短軸 0.72 m, 検出面からの深さ 1.05 m。
埋土 A 1～2, B 1～2, C 1～5層。出土遺物 なし 時期 縄文時代以降

②溝跡 (第2表, 第4図)

R G 01 溝跡

位置 北部 (第2・4次調査区へ連続) 重複関係 現代の水路と重複し古い。
規模等 幅 0.9～1.1 m, 延長約 3.3 m以上 (調査区外), 検出面からの深さ 0.34 m。
断面は逆台形状。 走向 北東から南西 埋土 A, B, C層。
出土遺物 なし 時期 近世以降 (第2次調査成果から。)

R G 10 溝跡

位置 南部 重複関係 近世以降の水路跡と重複し古い。
規模等 幅 0.65～0.7 m, 延長 3.5 m以上 (調査区外), 検出面からの深さ 0.17 m。
断面は皿状。 走向 北東から南西 埋土 A層
出土遺物 なし 時期 古代 (平安時代・第4次調査成果から。)

R G 21 溝跡

位置 中央南寄り 重複関係 なし
規模等 幅 0.28～0.36 m, 延長 2.1 m以上 (調査区外), 検出面からの深さ 0.09 m。
断面は逆台形状。 走向 北東から南西 埋土 A層
出土遺物 なし 時期 古代以降 (平安時代の可能性。第4次調査成果から。)

R G 22 溝跡

位置 北部 重複関係 なし
規模等 幅 0.45～0.85 m, 延長 2.8 m以上 (調査区外), 検出面からの深さ 0.08 m。
断面は皿状。 走向 北西から南東 埋土 A層
出土遺物 なし 時期 近世以降か (埋土状況から。)

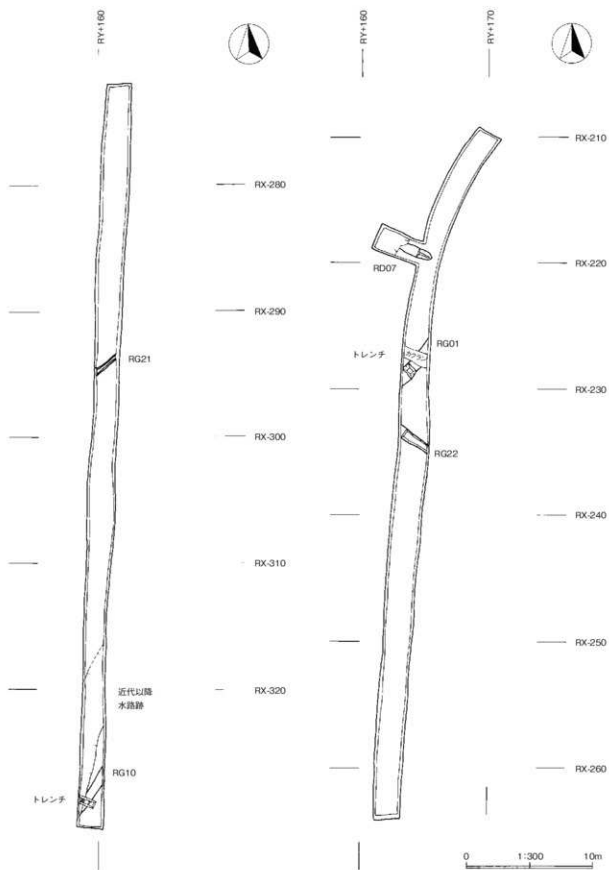
(4) 調査のまとめ

本次調査では、縄文時代以降の陥し穴1基、平安時代以降溝跡2条、近世以降の溝跡2条を検出した。従来の調査成果と合致する内容で、縄文時代以降の狩猟場、古代以降の農耕地帯であったことが裏付けられた。R G 22 溝跡は隣接の第2・4次調査区では検出されなかった。これは、田畑だった第2・4次調査区が、道路だった本調査区より深く耕起され本溝跡が破壊されていたためだろう。

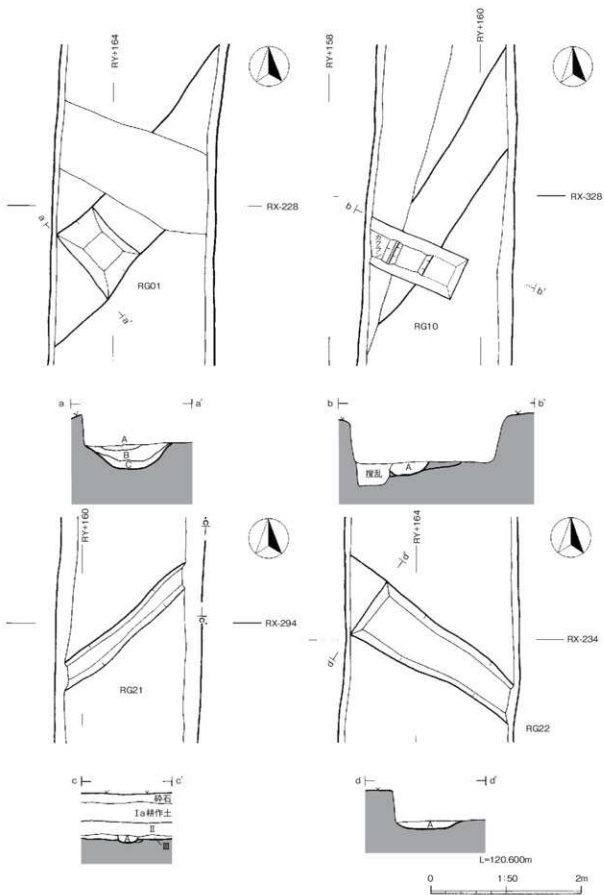
また、表土中から近現代のガラス瓶などが出土した。

(今野公顕)

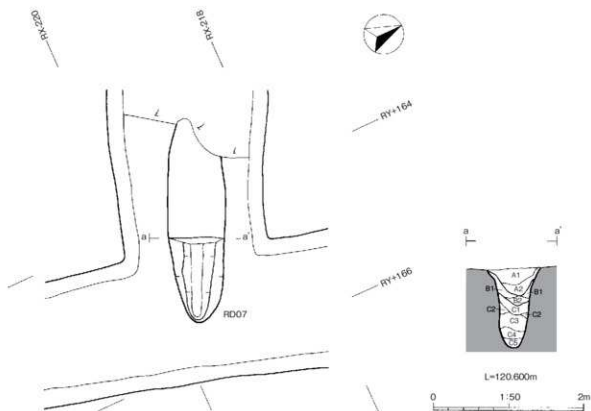
<参考文献>過年度 各向中野幅遺跡発掘調査報告書



第3図 第5次調査全体図 (1:300)



第4図 RG 01・10・21・22 溝跡



第5図 RD07 土坑

第2表 遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				密度	軟硬	その他	
		土性	土色 (JIS)	土性	土色 (JIS)	状態	%				
RD07	A1	SiCl	10YR2/3	SiCl	10YR3/3	粉状	20	中	中		
				SiCl	10YR4/4	粉~粒状	3				
	A2	SiCl	10YR2/3	SiCl	10YR2/2	粉状	20	中	中		
	B1	SiCl	10YR3/3	SiCl	10YR4/4-4/6	粉~塊状	40	中	中		
	B2	SiCl	10YR3/3	SiCl	10YR4/4-4/6	粉~塊状	20	中	中		
	C1	SiCl	10YR3/3-2/3	SiCl	10YR4/4-4/6	粉~粒状	50	中	中		
	C2	SiCl	10YR2/3	SiCl	10YR4/4-4/6	粉~粒状	30	中	中		
	C3	SiCl	10YR2/2-2/3	SiCl	10YR4/4-4/6	粉~粒~塊状	40	中	中		
	C4	SiCl	10YR2/2-2/3	SiCl	10YR4/4-4/6	粉~粒状	5	中	中		粘性あり
SiCl				10YR3/3-3/4	粉~粒状	5					
C5	SiCl	10YR2/2-2/3	SiCl	10YR4/4-4/6	粉~粒状	10	中	中			
			SiCl	10YR3/3-3/4	粉~粒状	5					
RG01	A	SiCl	10YR2/1					中	中	酸化鉄含	
	B	SiCl	10YR2/2	SiCl	10YR3/3	粒~塊状	3	中	中		
	C	SiCl	10YR2/2	SiCl	10YR3/4	粉~塊状	15	中	中		
SiCl				10YR3/2	粒~塊状	2					
RG10	A	SiCl	10YR2/2	SiCl	10YR3/3	粒状	2	中	中		
RG21	A	SiCl	10YR1.7/1	SiCl	10YR4/4	粉~粒状	2	中	中		
RG22	A	SiCl	10YR2/2	SiCl	10YR4/4	粉状	1	中	中		



南側調査区 全景（北から）



北側調査区 全景（南東から）



RG01 溝跡 南東から



近代以降水路跡・RG10 溝跡 南から



RG21 溝跡 西から



RG22 溝跡 東から



RD07 土坑（半裁状況） 東から



作業風景 南西から

報告書抄録

ふりがな	もりおかしいせきのまなびかん むいわかんんど かんぼう							
書名	盛岡市道跡の学び館 令和元年度 館報							
編集者名	三浦 志麻・室野 秀文・菊地 幸裕・津嶋 知弘・今野 公顕・花井 正香・似内 啓邦・鈴木 俊輝							
編集機関	盛岡市道跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2021年3月25日							
所収道跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	道跡番号					
盛岡城跡 (第39・40次)	岩手県盛岡市内丸 57-1地内	03201	LE16-0355	39°42'01"	141°09'00"	20190610 ～1129	829	保存整備事業に伴う事前調査
下永林道跡 (第8次)	岩手県盛岡市津志田 14地割1-1外		LE27-2054	39°39'16"	141°09'43"	20190603 ～1225	2,187	土地区画整理事業
細谷地道跡 (第40次)	岩手県盛岡市向中野 字細谷地 24-4 外		LE26-0214	39°40'29"	141°08'30"	20191001 ～1024	595	土地区画整理事業
安倍館道跡 (第94次)	岩手県盛岡市安倍館町 124-5		LE06-1123	39°43'14"	141°07'32"	20190415 ～0426	65	個人住宅建築
大新町道跡 (第85次)	岩手県盛岡市大新町 16-30		LE06-1075	39°42'53"	141°06'58"	20190415 ～0605	87	個人住宅建築
西籠渡道跡 (第37次)	岩手県盛岡市三本柳2 地割 37-9		LE27-1046	39°39'52"	141°09'47"	20190531 ～0702	66	個人住宅建築
二又道跡 (第15次)	岩手県盛岡市下飯岡1 地割 51-1		LE26-0024	39°40'30"	141°06'52"	20190917 ～0930	36	個人住宅建築
百目木道跡 (第36次)	岩手県盛岡市三本柳5 地割 41-2		LE27-1096	39°39'37"	141°09'46"	20191023	99	個人住宅建築
西籠渡道跡 (第36次)	岩手県盛岡市三本柳2 地割 22-3 外		LE27-1046	39°39'52"	141°09'47"	20190417 ～0711	4,552	宅地造成
稲荷町道跡 (第35次)	岩手県盛岡市大館町 434-2		LE06-2010	39°42'40"	141°06'35"	20190723	48	宅地造成
荒屋道跡 (第4次)	岩手県盛岡市永井25 地割 46-147-2		LE36-0319	39°38'53"	141°09'12"	20191030 ～1031	636	宅地造成
稲荷町道跡 (第36次)	岩手県盛岡市大館町 126-1 外		LE06-2010	39°42'40"	141°06'35"	20191203 ～1204	255	宅地造成
台太郎道跡 (第92次)	岩手県盛岡市向中野 二丁目 5-11		LE16-2269	39°40'53"	141°08'18"	20200324	64	共同住宅建築
向中野幅道跡 (第5次)	岩手県盛岡市向中野 字幅地内		LE26-0371	39°40'19"	141°08'45"	20191111 ～1113	245	上下水道等工事
所収道跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
盛岡城跡 (第39・40次)	城館跡	近世	掘立柱建物跡、竪穴跡、焼土跡 本丸天守石垣天壇石、石土居天壇石		瓦、陶磁器 コンテナ 43 箱		御座師小屋と推測される建物跡を検出	
下永林道跡 (第8次)	散布地	縄文 古代	陥し穴状土坑 4 基 円形周溝 15 基、掘立柱建物跡 1 棟		土師器 コンテナ 8 箱		主体部を伴う円形周溝を検出	
細谷地道跡 (第40次)	集落跡	近現代	廃棄土坑 16 基		近現代陶磁器・ガラス瓶 コンテナ 6 箱			
安倍館道跡 (第94次)	城館跡	中世	堀跡 1 条		陶磁器、古銭 コンテナ 1 箱			
大新町道跡 (第85次)	集落跡	縄文	土坑 1 基		縄文土器・石器 コンテナ 1 箱			
西籠渡道跡 (第37次)	集落跡	奈良	竪穴建物跡 1 棟、土坑 6 基		土師器、土製紡錘車 コンテナ 2 箱		道跡最大規模の竪穴建物跡を検出。赤彩高環が出土	
二又道跡 (第15次)	集落跡	平安	竪穴建物跡 1 棟		須恵器・あかやき土器 コンテナ 2 箱			
百目木道跡 (第36次)	集落跡	平安	竪穴建物跡 1 棟		土師器・あかやき土器			
西籠渡道跡 (第36次)	集落跡	奈良	竪穴建物跡 3 棟、土坑 2 基		土師器 コンテナ 4 箱			
稲荷町道跡 (第35次)	集落跡	中世	堀跡 1 条		なし			
荒屋道跡 (第4次)	集落跡	奈良	竪穴建物跡 15 棟、土坑 7 基		土師器			
稲荷町道跡 (第36次)	集落跡	縄文 中世	陥し穴状土坑 1 基 堀跡 1 条					
台太郎道跡 (第92次)	集落跡	奈良・平安	竪穴建物跡 5 棟、溝跡 1 条		土師器・須恵器			
向中野幅道跡 (第5次)	集落跡	縄文 古代	陥し穴状土坑 1 基 溝跡 2 条		近現代ガラス瓶 コンテナ 1/2 箱			

盛岡市遺跡の学び館 令和元年度 館報

令和3年3月25日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
e-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html>

印刷 永代印刷 株式会社
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目 8-30
電話 019-636-0011 FAX 019-636-0099



盛岡市 **遺跡[®]の学び館**